　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２０１7・１・２７

兵庫県高英研　ワークショップ

　　　　　授業が変わる　生徒が変わる　～アクティブラーニングを超えて～

　　　英語筋力を楽しく・徹底的に鍛える　授業デザインと小技・中技

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　大阪信愛女学院中高　石部　睦雄

英語の授業は英語で！　４技能を授業で！　アクティブラーニング！　ＩＣＴの活用！なんだか英語教育界が騒がしくて、地に足の着いた授業が難しいこの頃ですね。　英語教育は混迷と激動の渦中。ICTやらプレゼンやらディベートやら派手な授業がもてはやされていますが　先生は忙しくなるばかり、それで生徒の英語の力がついているのでしょうか？　間違いだらけの幼稚園児並みの英語をspeakingして満足ですか？

学力が高く、学習習慣もあり、意欲や動機も十分にあり、経済的に恵まれた生徒集団を持つ学校なら　どんなことでもできますね。　授業で何をやっても自習・塾・家庭教師で入試に必要な学力をつけてくれます。　ところが、そんな学校ばかりではありません。

多様な背景をもつ学力レベルや意欲・習慣の差も大きい生徒たちが同じ教室学ぶ環境で　どうしたら全員が参加でき取り組む授業ができるのか？

試行錯誤を進めるうちに、今日お話しする授業の形ができてきました。

　本当に大切なことは　異言語の英語を生徒が頭に取り込み、それを使って読み・書き・聞き・話すようにさせることです。その第一歩は「覚えなアカンものは覚えなアカン！」　そのために英語を訓練として日々の授業で生徒に　出来るだけ楽しく、全員が参加できるようにして　さらに成績を上げる。　そんな授業デザインと使える小技をお教えします。　指名なし、予習なし、辞書なしで５０分間　生徒にノンストップで活動をさせる授業展開で確実に実力をつけていきます。　新学期から授業を変えませんか？

　今日の帯活動　　　そのうちわかるはず 関係詞（１）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | who. whom. which. whose | 使い分け練習 |  | キーワードは　後ろに足りないものはな～に？ |
|  | 関係詞節 | 名　詞 | 関係詞は？ | 英語にしてみよう |
| 1 | お父さんが僕にくれた | the watch |  |  |
| 2 | 果物を食べる | an animal |  |  |
| 3 | 赤い屋根の | a house |  |  |
|  |  | a house |  |  |
| 4 | 私が昨日見た | the movie |  |  |
| 5 | 君が通りで出会った | the person |  |  |
| 6 | 僕の先生が僕に見せてくれた | a photo |  |  |
| 7 | 母が作った | the curry |  |  |
| 8 | とてもイイにおいがする | a flower |  |  |
|  |  | a flower |  |  |
|  |  | a flower |  |  |
| 9 | 髪の長い | a girl |  |  |
|  |  | a girl |  |  |
| 10 | 私が愛した | a boy |  |  |
| 11 | 毎晩泣く | a baby |  |  |
| 12 | 昨日僕が無くした | a comic |  |  |
| 13 | 輝いている | the sun |  |  |
| 14 | 日本に住んでる | an American |  |  |
| 15 | 先がまるい | a pencil |  |  |
|  |  | a pencil |  |  |

本日の関係詞の練習は文法の関係詞に入るまでの２週間ほどの文法の授業内で１０分ずつ帯活動として行います。プリントは３枚あり、関係代名詞から前置詞＋関係代名詞、そして関係副詞へと発展的に練習する仕組みです。

手順）

1. 基本の関係代名詞（which, who, whom, whose）と関係詞節が日本語と逆になることの刷り込み
2. 先行詞の判別方法を確認しながら　口頭で英作
3. もう一度　練習
4. さらにスピードを速めて練習
5. ペアで確認　　　（正しく言えてるか？）
6. ペアで練習
7. 相手を変えてペアで練習
8. もっと早く言えるようにペアで高速練習
9. １分間　勝負
10. 書いてみよう
11. 正解確認（間違ったところの訂正）
12. 個人チェック
13. 文にしてみよう

実際は　毎時間の最初に１０分程度の帯活動で　この手順にを分割して　徐々にできるようにしていきます。授業を帯活動と本時の内容の説明　そして　本時の英語の練習　というデザインにして　できるだけ説明を短くし、学んだことを頭に沈みこませる練習を徹底的にする。　帯活動では　暗記しなければならない課題をクラス全体で短時間で繰り返し行うことで全員の基礎力の定着を保障する。そうすることで　できる層　できない層のデバイドをなくし、全体の学力をアップすることを目指します。関係詞の単元に入ったら、簡単な説明程度でほとんどの生徒がスラスラとドリルをこなしていきます。